

【NEWS RELEASE】

2025年12月23日  
サーモス株式会社

## 生物多様性の保全を考える取り組みの一環として 自然環境保全活動『東京グリーンシップ・アクション2025』に参加

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、2025年11月29日（土）に東京都・NPO法人・企業が連携して行う自然環境保全活動である『東京グリーンシップ・アクション2025』に参加し、里山保全活動を実施しました。本活動への参画は、今回で3年目となります。

当日は、当社社員やその家族を含む13名が参加し、NPO法人自然環境アカデミー、（公財）東京都環境公社の協力のもと、八王子滝山里山保全地域において、自然観察、立木の間伐、玉切り、薪づくりを行いました。晴天にも恵まれ、参加者一同が自然と触れ合いながら、環境保全について深く学ぶ機会となりました。今後もこのような活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社は、サステナビリティテーマ「人と環境にやさしいサーモス」を掲げています。本活動は、当社のSDGs活動の一環として、生物多様性の保全を考える重要な取り組みと考えています。当社製品にも深く関連する「水」と、その源である森林を守る重要性を学び、これをきっかけに今後の活動を広げていくことを目指しています。



### ＜実施概要＞

開催日 : 2025年11月29日（土）  
場所 : 八王子滝山里山保全地域（八王子市滝山町）  
参加者 : 当社とその関係者（家族含む）13名、主催・運営8名（計21名）  
運営 : NPO法人自然環境アカデミー、（公財）東京都環境公社

### ＜参加者のコメント＞

- ・里山保全活動を通して、里山の成り立ちやそこで暮らす生き物たちについて学ぶことができた。
- ・参加者全員で間伐作業として一本の大きな木を倒し、薪づくりまで体験できたことで、充実した時間となった。
- ・人が手入れをし続けることで守られる生態系があることがわかり、今後も継承していくことが大切だと感じた。

■当日の様子



自然観察  
里山の成り立ちや、現在直面している状況について学習。



立木の間伐  
他の樹木への栄養供給が改善されるように、過剰に生えた樹木の間伐を実施。



玉切り  
間伐した樹木をのこぎりで、  
薪にしやすいよう丸太に加工。

薪づくり  
玉切りした木材を使用し、  
薪づくりを実施。